桜山だより

河野高等技芸院
河野高等女学校
下関河野高等家政女学校
下関河野学園高等学校
下関短期大学付属高等学校
下関女子短期大学付属高等学校
下関河野学園中学校
下関女子短期大学付属中学校

校訓

正
温雅
自覚
感謝

発行人
桜山同窓会事務局
下関桜山町1番1号
TEL 0832-23-0338
FAX 0832-31-1681
印刷
泉菊印刷株式会社
下関市長府扇町8番48号
TEL 0832-48-3553
FAX 0832-48-0039

桜山同窓会を想う

同窓会長　上田常子

新しい二十一世紀に入りました。母校のつつじも終り新緑の季節になり皆様お元気ですか。本年の同窓会がまいります。今年は母校での同窓会でございます。

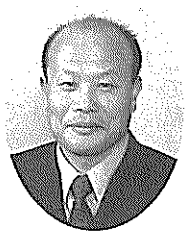
今日此の頃の世の中厳し過ぎますが、心のゆとり柔軟さを一日母校に求めてみませんか。私は母校の卒業式を目前にしました。黒の着物姿に濃紺の袴をキリリと着て答辞を読む礼儀作法。

涙、涙、涙、時間の止ったようなその姿を見て、人間の本随の淑徳の姿が、まだここに残っていた。何かほのぼのとしたものが、心にしみ感激いたしました。心の教育を受けた私達は、良かったネと、安心感が、わき上りました。

校門が広くなり母校の見通しが良くなりました。桜の花びらが、ひきつめられた校門の前に立ってみて下さい。又新入生もたくさん入学されました。同窓会の皆様も自分自身に誇りを持って家庭や仕事をしっかり守って下さい。理事長、校長先生、諸先生の努力、愛敬に本当に感謝し、母校並び桜山同窓会のますますの繁栄と皆様のご健康を思い又、同窓会でお元気なお顔を見られる事を祈りまして、私のご挨拶とさせて致きます。（一度、二度と云わず校門の前に立ってみて下さい。何かきっと心に感じるものがありますよ。）

母校の現況について

校長　松井忠夫



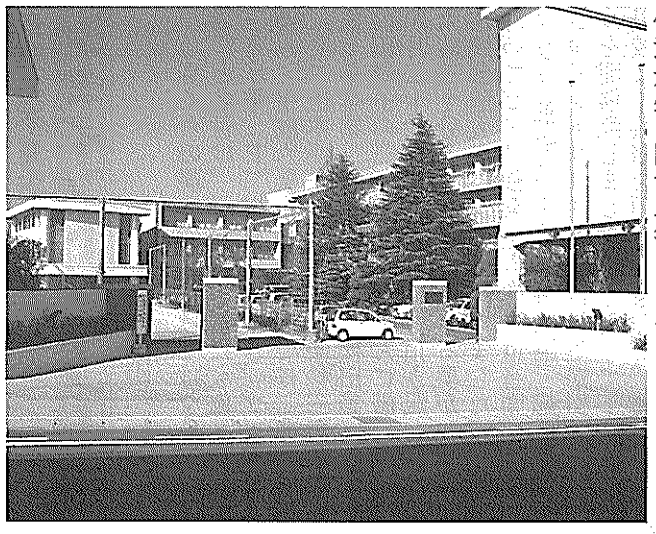
新しい立派な正門ができ、校名も下関女子短期大学付属高等学校から下関短期大学付属高等学校へと変わり将に新しい二十一世紀の最初の年に相応しい十三年度を迎え、学園も男子学生の入学で活気に満ちております。

今年度は普通科に情報福祉コースと進学コースを設け、中学卒業生が減少する状況の中で、何とか昨年とほぼ同じ新入生を確保できたことに対し関係者に心から感謝しているところです。

三月一日には九十一名の生徒が卒業し、四月九日には百十七名の新入生が入学してきました。これらの生徒一人ひとりを大切に育てていく責任の重大さを感じております。今年度も昨年に続いて音楽科に男子生徒三名が入学しました。

学校行事としては、五月に海響館の見学、七月にきらら博の見学、十月に桜山祭、十一月にハワイ修学旅行（二年生）等を計画しています。

おわりに今年は三十三年間勤務された佐武先生、四十二年間の益本先生、それに事務局長の篠田先生が退職されました。長い間本校の為に本当にありがとうございました。代って岡村事務局長、山崎主事を迎えました。どうぞよろしく。



〝歴史・伝統〟を大切に

教頭　小川文則

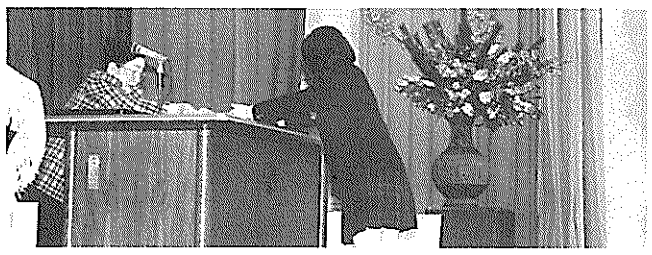
桜山同窓会の皆様お元気でご活躍のこと大変嬉しく思います。

私が三十三年目の教師生活を迎えられたのも卒業生の暖かい励ましとご理解のお陰と感謝しております。

平素生徒たちに本校の歴史・伝統を大切にしようと話していますが、私たちの学園で生徒が楽しい生活が送られるのも卒業生の素晴らしい活躍と協力があればこそです。これからも生徒たちはいつも卒業生の支援に感謝し、また卒業生の皆様には母校の事をいつも気にかけていただきたいと思っています。学校と同窓会が一つになり協調が歴史・伝統を守ることになると信じております。

今後の同窓会の発展と卒業生のご健勝とご多幸を祈り挨拶とさせていただきます。

平成12年度 卒業同窓会入会式 委嘱状授与



普通科三年一組
片山裕美子
平野恵美
船戸早苗
村上静香

普通科三年二組
金山瑠美
濵本幸
峯藤愛子
宮武美紀

生活教養科三年
上田悦子
岡野幸恵
小尻久美子
山下あずさ
山田智香
山本恵子

音楽科三年
田中綾
野田陽子
宮崎加奈子

ごあいさつ

益本洋子

今度、私は昭和三十四年卒業後、創設者河野タカ先生にご指導いただき、今日まで学園の事務局で四十二年間勤めさせていただきました。定年と云う現実からはのがれることはできません。

退職辞令を西村理事長よりいただいた時は、清々しい気持で学園を後にすることができました。

卒業生の皆様方には長い間、公私共に大変お世話になり、感謝の気持でいっぱいでございます。本当にありがとうございました。

学園も少子化のあおりで男女共学になり、今年度から校名も「女子」がなくなり、下関短期大学と校名変更となりましたが、河野タカ先生の建学の精神は何一つ変ることなく継承されています。

私も卒業生の一人として愛する桜山同窓会と河野学園の益々の発展を祈る次第です。

最後になりましたが、卒業生の皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げますと共にこれからも、今まで同様お付き合い下さいますようお願い申し上げます。

友達を思う

峯藤愛子（H13年卒）

二十一世紀を迎え、私達は希望に満ちた空へと飛び立ちました。

高校3年間で、いろいろな人と出会い、沢山の経験をし、日々充実していたあの頃がとても懐しく思われます。

友達と楽しく過ごしていく中で、時には涙も流したこともあったけれども、その一つ一つが思い出となり、一人一人の心の中にしまわれていることだと思います。

形はそれぞれだけど、長い人生の中で、高校生時代の思い出というのは、特に残るものです。

卒業した時、この学校に入学して良かった、と思える環境を作ってくれた先生方や友達に感謝したいと思います。

今年の7月、卒業して初めての同窓会があります。

少しでも多くの友達と再会し、懐しい話ができたらな、と思っています。

平成13年 桜山同窓会

● 日時　平成13年7月15日(日)10時から　● 場所　下関短期大学付属高等学校

高校生活そして、その後

佐々木　ともみ（H6年卒）

下関女子短期大学付属高等学校を卒業し、早7年がたちました。

高校生活を振り返ってみると数えきれないほど沢山の思い出がありました。

授業中に本読みを当てられ読めない漢字があると職員室まで聞きに行かないといけなかった授業、他の先生から「お前はそんな漢字も分からんのか」などと言われその授業中の本読みが本当に緊張のしっぱなしだった事を思い出します。

その他にも先生に叱られた事、そんな高校生活も今となってはみんな本当に楽しかった思い出となって私の記憶の中に残っています。

そして今、私は、モデルの仕事をしながら、少人数ですが自宅で、エレクトーンを教えています。教わる側から教える側となってみて人に教えるという大変さを自分がその身になって初めて分かりました。

そして私は、「人生一度限りなんだから、色んな事に挑戦しよう」という気持ちからモデルの仕事をするようになりました。モデルの仕事は、毎日が不規則ですごく大変ですが、私にとってこの仕事が一番やりがいあって自分自身、楽しく仕事が出来る様な気がします。

今は舞台や歌などにも挑戦して、これからまだまだ勉強する事が沢山ありますが、一歩一歩、前進して、これからもっと活躍できるように頑張っていきたいと思います。

だめでもともと、夢は夢で終らせたくない、やるだけやって実現できなくても、それは必ず自分にとってプラスになってるはずだから何事にも挑戦しよう。それが私のモットーです。

私の出発点

小野幸美（炭屋）（S56年卒）

卒業して何年と考えるのも嫌になってしまったが、何かの縁で原稿を依頼される事となり私の土台となっている、あの頃を思い出してみようと、ペンをとってみた。

十五の春、音楽が好きだからと、ただそれだけで学校の門をくぐった。今考えると、まだ十五、将来の事なんか、とうてい考えられる年では、なかったはず。だが、同じ夢をもった仲間と共に、歩みはじめた。試験のたびに、才能のなさに、愕然とした。いつのまにか音楽が苦楽になった。何度学校をやめたいと思っただろうか。でもその度事に、励まし、支えてくれる仲間がいた。時にはライバル、時には、姉妹のように、笑い、泣いた。そして、それは、音楽を職業とした今でも続いている。

演奏に行き詰った時、自分の指導に疑問を感じた時、仕事に行き詰った時、子供を持ってからは、子育ての悩みまで、あらゆる面で仲間たちに助けられている。そんな素敵な仲間たちと過ごした高校での三年間。まさしく、私の出発点だと確信している。十五の春に見ていた夢に向ってまだまだ走り続けるつもりでいる。

かけがえのない仲間たちと共に。

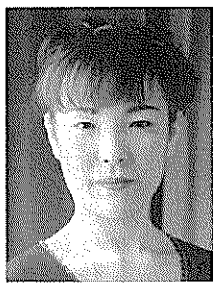
音楽科卒業生による ジョイントリサイタル

前田知子

〝さくらの調べの会〟と名付け、平成三年卒業（P）桝本ゆみ・平成六年卒業（P）山本亜矢・平成七年卒業（Vo）前田知子の三名で、四月二十七日、午後六時三十分より下関市民会館大ホールにおいてピアノ独奏ソプラノ独唱によるジョイントリサイタルを開催致しました。母校より共催を頂き、下関教育委員会、下関短期大学、そして桜山同窓会より後援を頂く等皆様方には一方ならぬお力添いを頂き、初のジョイントリサイタルを開催する事が出来ました。心より厚くお礼申し上げます。

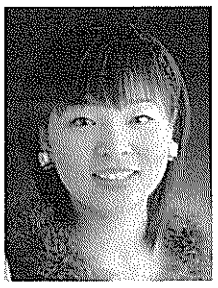
この度のジョイントリサイタルでは、ただ三人で演奏するだけではなく、生徒さんにも色々お手伝い頂き、プログラム作成では、曲の解説を音楽科三年楽理専攻、櫻田美和さんに御協力頂き記載する事が出来ました。伴奏は音楽科教諭、徳留先生が引き受けて下さる等、諸先生方には大変お世話になりました。さらには恩師より励ましのお便りを頂きまして、不安と緊張の入り交じる中、精神面において心の支えとなりました。

今回のジョイントリサイタルで多くの方々の暖かい応援に感動致しました。又、会場にお来し頂いたお客様の出会いに感謝致します。ありがとうございました。



桝本ゆみ
平成3年卒業

山本亜矢
平成6年卒業



前田知子
平成7年卒業

新任紹介

（左）山崎紀子	名前	（右）平塚理佳
事務局	所属	栄養健康学科
平成11年度	卒業年	平成10年度
山口県宇部市	出身地	福岡県北九州市
4月20日	誕生日	8月22日
歌	趣味	料理
バレーボール	特技	卓球
前向き。	好きな言葉	努力。

縁あって母校に勤めさせて頂く事になり、大変嬉しく思っております。学生時代のたくさんの思い出を胸に、卒業生としての誇りと強い責任を持って勤めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

退任者

〈常勤〉
佐武　弘達先生（社会）
益本　洋子先生（事務局）

〈非常勤〉
石飛　祥一先生（音楽）
早川　聰子先生（英語）
住田百々子先生（理科）
宮崎　武久先生（保体）

結婚おめでとう

藤井　尚恵　H13・2・11
岡野　幸恵　H13年卒　H13・3・18
津田　澄江　H13・5・3

物故者

S43・4・1～S44・1・31勤務　山口美恵子先生（体育）
平12・3・29亡　S47・4・6～S59・3・31勤務　中川　虎雄先生（教頭）
平12・11・21亡　S50・5・1～S61・3・31勤務　川口勝次郎先生（教頭）
平13・4・17亡

卒業生総数

●河野高等技芸院
本科 116名
研究科 22名
専攻科 15名
計 153名

●河野高等女学院
本科 287名
研究科 46名
計 333名

●下関河野高等家政女学院
本科 704名
研究科 6名
計 710名

●中学校計 627名

●高等学校
別科 117名
専攻科 13名
商業科 400名

平成13年度在校生 326名

家政科 1,368名
普通科 2,477名
生活教養科 290名
音楽科 823名
計 5,488名

卒業生総数
（平成13年3月卒まで）
計 7,311名

編集後記

編集にあたり、ご協力ありがとうございました。皆様の懐かしく温かな想い出を桜山会で語り合い、同窓会と共に母校の益々の発展を祈念致します。又、新しい校門をくぐりに是非母校へお立ち寄り下さい。

平成十三年
実行委員会一同

一家の健康は肉食から
肉の殿堂 しずかこんす
株式会社 静公司
本社 〒751-0816 山口県下関市椋野町3丁目13-18 TEL 0832-31-2941 FAX 0832-22-3711
流通センター 〒751-0816 山口県下関市椋野町3丁目13-18 TEL 0832-31-4734 FAX 0832-32-8304
総本店 〒751-0018 山口県下関市豊前田町2丁目6-23 TEL 0832-31-9702 FAX 0832-31-9702

豊かな食文化に貢献する。
しずか・外食チェーン
海峡グルメしずか本館
カルビ家族 本城店
カルビ家族 久山店
ステーキ静 大丸店
しずか亭綾羅木店
しずか亭長府店
しずか亭小嶺店
しずか亭豊浦店
しずか亭小倉駅店
梅ヶ峠店
レストハウスポパイ

下関夜間マッサージセンター開設!!
〈西森はり、きゅう、マッサージ療院内〉
営業時間 19：00～24：00（23：00受付終了）
訪問施術いたします！ 夜間出張
お問い合わせ受付 ☎22-5653
西森はり、きゅう、マッサージ療院内 下関市赤間町3－50 西森ビル2F

feelin YAMAHA
MUSIC CENTER KIMURA
有限会社 キムラ
ヤマハ特約楽器店・ヤマハ音楽教室
■有限会社 キムラ 〒825-0023 福岡県田川市上本町8-38 キムラビル2F TEL 0947-45-0304 FAX 0947-45-0378

カラオケ 艶歌
北九州ミリオン会本部
皆さん楽しく歌っています。
気楽にご来店ください。お待ちしています。
北九州市八幡西区浅川台1－9－3
TEL(093)601-9707

生花・慶弔電花・花束一切・ブーケ・卸売
(有)中塚生花店
本店 下関市唐戸中央市場 TEL 下関(0832)23-5022 FAX 下関(0832)33-1578
自宅 下関市横野町1丁目18-18 TEL 下関(0832)58-2525

紳士服&カジュアル&制服・学生服
コトウ
■本店 下関市細江町1丁目7－8（光明寺下） TEL(0832)31－1200・FAX(0832)31－0904
■KOTO 下関駅前シーモール南2番街(セントラルコート前) TEL(0832)31－1100代・FAX(0832)31－5713
■ARKS 下関駅前シーモール南2番街(セントラルコート前) TEL(0832)31－1301代・FAX(0832)31－1300